

教育関係法規 学習指導要領

- ・北海道教育推進計画
- ・宗谷管内教育推進の重点
- ・利尻町教育推進計画

■校訓■ 愛郷立志

■中核■キャリア教育で培う基礎的・汎用的能力の育成

■R5年度「宗谷管内教育研究会利尻島大会」による実践発表
実践「コミュニティスクール」小中一体化への一貫教育整備
事業「小中連携・中高連携」の小中高12年間の学びの推進
事業「小中高ICTプラットフォーム統一」によるICT活用指標の整備

■目指す姿■

- 生徒像
- ◆知：主体的な学びの姿をもち社会で生きて働く学力を身につける生徒
 - ◆徳：発進力をもち積極的に人間関係を築ける生徒
 - ◆体：高い目標をもち自ら心身を鍛える生徒
- 教職員像
- ◆授業力を身につけた教師
 - ◆個性を引き出し育てる教師
 - ◆生徒と共に歩む教師
 - ◆明るい職場づくりに率先垂範する教師
 - ◆地域と共に歩む教師
 - ◆自ら律する教師
- 学校像
- ◆生徒：自らの個性が発揮でき夢や希望の実現にむけた基礎固めの場
 - ◆保護者：協働して子どもの成長を支える教育のパートナー
 - ◆地域：CSと連動し地域から信頼される関係
 - ◆教師：自らの教師力を高める



令和5年度 利尻中グランドデザイン ver.2

■学校教育目標■ ふるさとを愛し未来を担う生徒の育成

■教育活動の重点■ 利尻のよさを生かし、未来を生きぬく力を付けるキャリア教育の実践
ステップ1：まわりと関わる力（考える、話す、聴く、取り入れる）
ステップ2：判断し活用する力（企画する、試してみる、反省する）
ステップ3：自分の役割や生き方を考える力（自分を知る、力を合わせる。やり直せる、将来を考える）

■学校研究主題・副題■ 自ら学び、仲間と共に高め合う生徒の育成
～ICTの活用を通して～ I 主体的に学ぶための工夫 II 協働的に学ぶための工夫

■宗谷管内教育推進の重点■ ～子どもの未来保障 OVER70～

- ① 授業改革：新しい時代に必要な資質・能力の確実な育成
- ② 学校経営：教育課程の決定
- ③ 検証改善：OVER70の実現
- ④ 働き方改革：学校本来の役割
- ⑤ 小中高12年：小・中・高の連続性・継続性

■よさを活かす■落ち着いた生活 異学年協力 部活動 研修意欲 保護者の協力

■課題を克服■

- 思考力と記述を伸ばす授業
- 授業から家庭学習につなぎ定着をはかる
- 人前での発表・努力の達成感
- 体験を通した発見、まわりへ感謝の心

青：実施 赤：加筆

教育活動の重点

（1）教科指導 ★「主体的・対話的で深い学び」の実践

◇「授業改革に向けた5つのポイント」「学びのユニバーサルデザイン」◇ICT活用を活かし①主体的に学ぶ工夫、②協働的に学ぶための工夫を活かした指導 ◇言語活動を取り入れた思考力・判断力・表現力の育成（全国学力・学習状況調査や道チャレンジテストの結果を踏まえ改善につなげる） ◇生徒指導の機能を活かす授業（自己決定・自己存在感、共感的人間関係）◇家庭学習につながる授業の工夫

（3）特別活動 ★自分とまわりのよさや違い（個性）を受け入れ、集団行動と役割発揮を身につける

◇仲間や自分のよさや役割の発見 ◇コミュニケーションを通して互いをわかり合い、関わり合う活動
◇付けたい力を育む学校行事・学年行事 ◇学級での当番や係、生徒会活動を通した学校・学級の自治活動の充実 ◇保健体育や部活動以外での運動に親しむ機会

（4）総合的な学習の時間 ★ふるさとを愛し、未来を考える探究的な活動を行う

◇主体的・協働的に取り組める探究的な活動 ◇課題設定力・課題解決力・発信力を伸ばす
◇ボランティア活動を軸にした地域との関わり ◇職場体験・上級学校訪問で体験し学ぶ活動の重視
◇ふるさとのよさにふれあう行事参加、学習の実施で思いやりや感謝の気持ちを持つ

（11）家庭・地域・異校種との連携★生徒の健やかな成長へ、家庭や地域、関係機関の連携協働

◇学校だより・学級通信、HPや懇談会での情報発信 ◇よきパートナーの保護者との関係づくり（報告・相談・感謝） ◇地域連携Co+学校運営協議会（コミカ）と連携した外部講師活用・オンライン授業
「社会とつながる、本物から学ぶ授業」実施 ◇小・高への授業公開 ◇地域行事への協力

（5）生徒指導 ★子ども基本法、生徒指導提要の理念を取り入れ、自己実現を目指す指導の構築

◇全教職員での生徒理解、実践的指導 ◇生徒同士の人間理解と集団づくりをすすめる行事 ◇課題や困り感を抱える生徒の指導体制、関係機関との連携
◇いじめや自殺の未然防止、わずかな変化の日常交流 ◇挨拶、服装、言葉遣い、時間意識、整理整頓等の社会に必要な基本的生活態度の育成

（8）特別支援教育（通常級含む）★障がいや教育ニーズに応じた指導と支援

◇特別支援学級の指導体制の充実 ◇支援が必要な生徒の理解と支援 ◇校内支援委員会の定期実施 ◇関係機関との連携（要対協・児相）◇リモートセッションと合理的配慮の普及
◇働くことを見据えた体力向上・社会性向上の指導 ◇「15の春」の進路指導

（9）学年・学級指導 ★生徒一人一人の連帯感を高め、多様性の理解と必要な支援ができる

◇自分で考え、意見を言える・聞いてもらえる心理的安定性のある学級づくり
◇個人差への配慮や認め合い、助け合いができる学級 ◇ほっと・Assessでの評価

（7）学校保健・安全指導★健康的に過ごす生活リズム、体力づくり、命を守る

◇自分の体の健康を学ぶ授業 ◇学校を綺麗にする・使う指導 ◇ゲーム・動画の長時間視聴、SNSトラブル防止のメディア利用学習会 ◇健康相談の実施
◇避難訓練、1日防災学校をアップデートし自ら災害から命を守る訓練

（10）部活動指導

★自主的・自発的な参加活動による練習や目標など主体性や責任感を育てる
◇心身両面での成長と異学年集団による学び合いの重視 ◇技術・体力社会性の向上 ◇複数体制による指導充実と時間外勤務の縮減
◇道の方針に則った実施日と休息日の設定、健康・安全・ケガ防止

（キャリア教育で培う基礎的・汎用的能力）～中核的な重点～

《人間関係形成能力・社会形成能力》	○他者を理解し自分の考えを伝え、協力・協働できる	・他者の個性を理解する力 ・他者に働きかける力 ・コミュニケーションスキル ・チームワーク ・リーダーシップ等
《自己理解・自己管理能力》	○自己の役割理解、動機付け、忍耐力	・自己の役割の理解 ・前向きに考える力 ・忍耐力自己の動機付け ・ストレスマネジメント ・主体的行動等
《課題対応能力》	○情報の理解・選択・処理	・情報の理解、選択、処理等 ・本質の理解 ・原因の追究 ・課題発見 ・計画立案 ・実行力 ・評価、改善等
《キャリアプランニング能力》	○学ぶこと・働くことの意義や役割の理解	・学ぶこと、働くことの意義や役割の理解 ・多様性の理解 ・将来設計 ・選択 ・行動と改善等

学校経営の重点

青：実施 赤：加筆

◆教育課程の編成・実践・評価・改善 ★学校教育目標実現のため、実態を踏まえ、必要な教育活動を推進する

○生徒や地域の実態把握 ○カリキュラム・マネジメントの計画的・組織的な実施 ○アンケートや学校評価を踏まえた改善

◆学力向上・定着の授業改善 ★「主体的・対話的で深い学び」とICT等活用「個別最適な学び」で学力向上と定着

○「授業改善に向けた5つのポイント」「学びのUD」の意識の授業実践 ○全国学力・学習状況調査や道チャレンジテストを活用した検証と授業改善 ○テスト後の必要な学び直しや学習指導の改善 ○全教職員で求められる力を付ける指導

◆特別支援教育 ★困り感を持つ生徒の理解をすすめ、全教職員で必要な支援を行う

○特別支援教育の理解（実態交流、研修） ○学びでの困り感を少なくするUD化 ○交流学級への学習参加（自己有用感・リモートセッション・合理的な配慮の推進） ○校内支援委員会の定期的実施 ○困り感をもつ生徒の理解と支援

◆研修活動 ★教職員の資質・能力の向上と、同僚性による教師育ちが進む教職員集団づくり

○必要な資質・能力を付ける授業研修 ○主体的に学び、協働的に学ぶことにつながるICT活用 ○時代の変化に対応した指導（子ども基本法、生徒指導提要） ○メンター研修、世代別の学び合い ○コンプライアンスの遵守呼びかけ

◆危機管理 ★生徒の命を守り、信頼と安心安全な学校環境づくり

○安全点検と防災訓練のアップデート ○教職員に関わる不祥事の未然防止（コンプライアンス遵守・ハラスメント撲滅）○日常実践における危機意識（リスクマネジメント）の発信とミニ研修 ○危機意識と未然防止システム（防犯・防災訓練） ○会計の定期・終了点検

◆組織力向上と働き方改革 ★同僚性向上を進め、課題解決に協働し・組織的に動いて早く帰れる職場

○業務の見える化による進捗状況と見通しによる効果的な連携、長時間勤務の解消 ○学校評価と教職員評価の学校運営の改善・充実 ○道アクションプラン（部活動地域移行・複数体制、コアチームでの検討）○時間外勤務振替の積極的活用と勤務縮減
○ワークライフバランスの意識改革 ○校内初任研の実施 ○人事評価シートと自己診断シート活用 ○校内相談体制によるメンタルヘルスマネジメント

■検証・改善■

ステップ1	まわりと関わる力	【生徒】1～5（5教科）9（道徳）12（責任・協力）14（部活動）、6（行事）学級、思いやり） 【保護者】6（主体性）8（責任感）10（部活動）13（学級づくり）15（思いやり）【教職員】9（道徳）10（行事の目標と生徒参画）24（部活動）
ステップ2	判断し活用する力	【生徒】6（自ら学習）7（ICT、授業）8（家庭学習）10（自発的行動） 【保護者】1（授業わかりやすさ）2（家庭学習）【教職員】11（自学自習）18（授業改善）26（保健安全）
ステップ3	自分の役割や生き方を考える力	【生徒】10（行事での役割）11（進路）15（環境美化） 【保護者】5（道徳）6（行事）7（総合と進路）9（体験学習）【教職員】6（主体性ある生徒会活動）12（キャリア教育）26（心の健康、性、薬物防止）27（自己有用感）